

第四類  
生涯活動  
教育系

## 健康スポーツ教育学プログラム

健康スポーツ教育学プログラム  
WEBサイトキラリと光る知性と実践力！  
体育科教員としての力を磨く

健康スポーツ教育学プログラムは、キラリと光る知性と実践力を備えた体育のエキスパート養成を目指しています。スポーツ学、スポーツ方法学、スポーツ教育学等の各専門分野においての科学的認識を深め、さらには各種スポーツ種目の実践を通して、理論に基づいた実践力と指導力を身につけます。

これらの専門教育を通して、中・高等学校の保健体育の教員免許と、公認スポーツ指導者や健康運動実践指導者の受験資格も取得できます。

本プログラムの卒業生は、中・高等学校の保健体育教員をはじめ、一般企業やスポーツ関連の組織・団体、公務員（警察官・消防士など）、さらにJICA海外協力隊員として国際的に活躍している人もいます。また、大学院に進学して、より専門性を高める道も開かれており、大学教員として活躍している人も多くいます。

## 取得可能な免許・資格

- 中学校教諭一種免許状（保健体育）
- 高等学校教諭一種免許状（保健体育）

※所要単位の修得により、他プログラム（特別支援教育学プログラムおよび心理学プログラムを除く）で取得する免許・資格も取得可能です。（時間割の編成、またはプログラムの人数制限などの状況により所要単位の修得が困難場合があります。）また、所定の授業科目の履修・修得により、ジュニアスポーツ指導員、スポーツプログラマー、健康運動実践指導者の各資格認定試験受験資格の取得（講習免除）、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の共通科目の講習・試験が免除されます。

## Student's Voice

このプログラムでは、授業だけでなく、教育実習や部活動への関わりを通して、実践的に学ぶ機会が多くあります。実際の現場で経験を重ねることで、知識だけでなく、指導する際の考え方や対応力が身につきます。また、国内での学びに加えて、留学などさまざまな進路の選択肢が用意されている点も、このプログラムの魅力だと感じています。異なる環境で学ぶことで、自分の視野が広がり、体育・スポーツを多角的に捉える力が養われます。実践を重ねながら自分の可能性を広げている環境が整っており、将来に向けて成長できるプログラムだと思います。



4年次生 藤岡 奈乃子

第四類  
生涯活動  
教育系

## 家政教育学プログラム

家政教育学プログラム  
WEBサイトQuality of Life の向上を目指し、  
人間生活を探究する

変化の激しい現代社会に生きる私たちにとって、生涯発達の視点に立ち、生活と環境の相互作用のあり方を再考することが課題とされています。また、私たちのQuality of Life（生活の質）を向上させていくために、個人がどのように生きるべきかが問われています。このような課題を追究し、将来の社会の礎となる人間生活教育学の専門家を育てることを目指して、本プログラムでは多角的な視点から幅広い教育を行い、人間生活を学術的に探究できる場を提供しています。

卒業後の活躍の場としては、中・高等学校の家庭科教員、公務員および人間生活・生涯教育関連の企業・団体などが挙げられます。また、大学院に進学・修了後、研究者として活躍する場も開かれています。

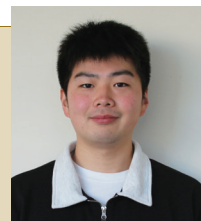
## 取得可能な免許・資格

- 中学校教諭一種免許状（家庭）
- 高等学校教諭一種免許状（家庭）

※所要単位の修得により、他プログラム（特別支援教育学プログラムおよび心理学プログラムを除く）で取得する免許・資格も取得可能です。（時間割の編成、またはプログラムの人数制限などの状況により所要単位の修得が困難場合があります。）

## Student's Voice

本プログラムでは、浴衣製作、調理実習、幼稚園での観察、古民家のリノベーション計画を構想するなど、多様で実践的な学びの場が用意されています。これらの活動を通して、家庭科が家の中だけで完結する学びではなく、「社会との関わりの中でこそ力を発揮する学問」であることを、体験的に理解することができます。地域との連携も充実しており、実生活に直結する技能を身につけながら、社会の中で家庭科が果たす役割を実感できる点が大きな特色です。



4年次生 竹下 直也

## Program in Health and Sports Education

The Program in Health and Sports Education aims to train athletic experts with gleaming intelligence and practical skills. Students also deepen their scientific awareness in specialized fields such as sports science, curriculum development and instruction, and so on. Based on theory, you can acquire a teacher's license, and you are qualified to take an examination to become Official Sports

Coaching and Health Fitness Programmers. Graduates of this course are active as health and physical education teachers or civil servants (such as police officers and firefighters) and at general corporations. There are also Japan Overseas Cooperation Volunteers, or a way to go to graduate school and improve your expertise.

## Program in Home Economics Education

In this rapidly changing modern society, it is important to reconsider the interaction between one's life and one's environment from the perspective of lifespan development. How each individual should live in order to improve the quality of his or her life is also an issue. Pursuing these issues and aiming to raise future experts in the human life sciences who will become cornerstones of society, this program covers a

broad range of topics in human life science education from various angles and offers a place to research the human life sciences academically. Graduates can teach home economics in middle/high schools, work in civil service, or in businesses and organizations related to human life and lifelong education. They can also take postgraduate programs and become scholars.

第四類  
生涯活動  
教育系

## 音楽教育学プログラム

音楽教育学プログラム  
WEBサイト



### 広がる音楽世界に対応する、新しい音楽人に

今日の音楽文化は、クラシック音楽、ポピュラー音楽、日本音楽、民族音楽など極めて多様であり、私たちの社会にはさまざまな音楽があふれています。音楽の教育的分野も、学校教育や社会教育、生涯教育、療育、福祉など多方面へ広がりを見せています。

音楽教育学プログラムでは、学生一人ひとりの目的に合った、多彩な授業を開講しています。個人・グルーブレッスンによる専門の演奏実技(ピアノ、声楽、管弦打楽器、作曲、指揮法など)やアンサンブル実習(合唱、オペラ実習、吹奏楽、オーケストラなど)があります。また、学校教育にとどまらず、生涯学習をも視野に入れた音楽教育学の講義・演習、西洋音楽および日本音楽を扱う講義・演習など、演奏家、教員、研究者養成に対応できるプログラムを実施しています。

卒業後は、演奏家、大学院への進学、大学教員、中・高等学校教員、民間企業への就職などの道が開かれています。

#### 取得可能な免許・資格

- 中学校教諭一種免許状(音楽)
- 高等学校教諭一種免許状(音楽)

※所要単位の修得により、他プログラム(特別支援教育学プログラムおよび心理学プログラムを除く)で取得する免許・資格も取得可能です。(時間割の編成、またはプログラムの人数制限などの状況により所要単位の修得が困難な場合があります。)

#### Student's Voice

本プログラムでは専門楽器や教育学だけでなく、吹奏楽やオーケストラ、合唱といった幅広い授業が展開されています。学生の数も多く、授業や学生主催の演奏会などで様々な仲間と共に過ごし、音楽にあふれた充実した4年間を過ごすことができました。自主的な学びや活動に専念できる環境が整っており、音楽を通じた様々な経験が教員になる上で大きな糧になりました。



令和8年3月  
卒業生 山本 日芽子

第四類  
生涯活動  
教育系

## 美術教育学プログラム

美術教育学プログラム  
WEBサイト



### 生涯活動の視点に立ち、 美術教育の専門家を育成

美術教育学、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史の諸領域で、表現力・鑑賞力を形成すると共に、その意義や歴史・理論などを探究し、生涯にわたる美術教育の方法やカリキュラムなどに関する専門教育を行います。

美術の教育を効果的に遂行できる人材を育成するために、1年次から段階的に美術の諸領域について学び、3年次後期で卒業研究のための専門領域を決定します。またオムニバス形式の授業や学外での研修など多彩なカリキュラム・行事も用意され、卒業制作展や卒業論文発表会では4年間の成果を発表します。

卒業後は、教員、各種文化施設における学芸員、美術・工芸、デザイン、印刷、出版など、幅広い分野での活躍が期待できます。大学院への進学によって専門性をさらに深めることも推奨しています。

#### 取得可能な免許・資格

- 中学校教諭一種免許状(美術)
- 高等学校教諭一種免許状(美術)

※所要単位の修得により、他プログラム(特別支援教育学プログラムおよび心理学プログラムを除く)で取得する免許・資格も取得可能です。(時間割の編成、またはプログラムの人数制限などの状況により所要単位の修得が困難な場合があります。)

#### Student's Voice

多様な表現に触れる中で、それぞれの学生が自分の「好き」に向き合いながら活動しています。個性豊かな仲間や親身に向き合ってくれる先生方に支えられ、苦手なことにも挑戦しやすい環境です。そのような環境で学ぶ中で、好奇心の積み重ねが自分の成長につながっていると実感しています。私たちと一緒に心が動くものを探してみませんか。



4年次生 市原 風紗

### Program in Music Education

The Program in Music Education offers a variety of lessons tailored to each student's needs. It encompasses professional performance practices, including piano, vocal music, orchestral instruments, composition, conducting, and more. Additionally, the program includes ensemble practices such as chorus, opera, wind ensemble, and orchestra. Furthermore, we provide lectures and exercises in school music education,

lifelong music learning, Western music, and traditional Japanese music. These academic activities are designed to train musicians, music educators, and researchers.

### Program in Art Education

The Program in Art Education aims to cultivate the students' abilities in art expression and appreciation in the areas of art education, painting, sculpture, design, crafts, and the science of art. The program also provides specialized education in the methods and curriculum of art education from the long-term viewpoint of one's life, while exploring the meaning, history, and theories in these areas. In order to foster individuals

who are capable of effectively implementing art education, students will learn about various areas of art from the first year and decide, in the third year, their specialized areas of studies necessary for graduation. During this program, students will be provided with a wide range of curriculum and events, and will present their achievements through their artwork and thesis presentations at the graduation exhibition.

第五類  
人間形成  
基礎系

## 教育学プログラム

教育学プログラム  
WEBサイト

## 教育のスペシャリストへの道

教育の理論や思想、教育の現象や制度・政策などに関する哲学的・歴史的・社会的・国際比較的研究、生涯学習や社会教育、教育課程や教育方法・技術、教育行政・学校経営に関する理論的・実践的研究、国際教育協力・教育開発、高等教育、幼児教育などについて、体系的知識を提供し、教育に関する高い識見と総合的な判断力をもつ専門の人材の育成を目指します。

3年次になると、自分の興味あるテーマに関して本や論文を講読し、発表する少人数の授業がスタート。それは、やがて4年次の卒業論文へと発展します。

卒業後に、大学院に進学して大学教員や研究職に就く人の数は全国屈指の実績を誇っています。そのほかの進路としては、公務員、小・中・高等学校教員、社会教育主事などの教育専門職、民間企業への就職、教育分野での国際的な開発協力実践家など多様です。

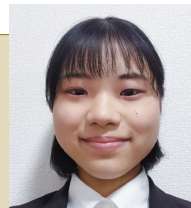
## 取得可能な免許・資格

- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(公民)

※所要単位の修得により、他プログラム(特別支援教育学プログラムおよび心理学プログラムを除く)で取得する免許・資格も取得可能です。(時間割の編成、またはプログラムの人数制限などの状況により所要単位の修得が困難な場合があります。)

## Student's Voice

私たちにとって身近な「教育」は、簡単には捉えられない奥深さを持っています。教育学部教育学プログラム、通称「教教(きょうきょう)」は、教育についてさまざまな視点から向き合い、教育の意味や可能性を探究しています。教教での学びは、自分自身の生き方や社会のあり方を見つめ直し、人間的な成長を実感できる、かけがえのない経験となっています。



4年次生 平井 花乃

第五類  
人間形成  
基礎系

## 心理学プログラム

心理学プログラム  
WEBサイト「こころ」の多様な側面を学び、  
「こころ」の問題を解決する力を身につける

心理学プログラムでは、人間の「こころ」を理解するために、認知・生理心理学、社会心理学、教育・学習心理学、発達・幼児心理学、臨床心理学など、心理学の主要な領域の講義科目を網羅しています。また、「こころ」の働きを測定する実験や調査、検査、測定データの分析などの研究法に関する講義、英語文献の読解力をつける講読演習、実験や調査を実際に行いながら方法を学ぶ基礎実習や心理学実験などの科目があります。

これを通して、「こころ」の多様な側面を系統的に学び、「こころ」のしくみを解明し、その問題を解決する力を身につけることができます。卒業研究では、一人ひとりが「こころ」の問題について、先行研究を調べ、実験や調査を行い、解明したことをまとめます。

卒業後の進路は、大学院への進学、公務員、家庭裁判所調査官、一般企業など、広範囲にわたっています。

## 取得可能な免許・資格

- 公認心理師(国家資格)
- 認定心理士(日本心理学会認定資格)

※公認心理師の受験資格取得には、学部で必要な科目の単位を修得した後、大学院での所要単位の修得もしくは実務経験が必要となります。

## Student's Voice

心理学プログラムではさまざまな分野を学び、4年間の学びの中で自分の興味のある領域を見つけることができます。また、日常の中の疑問を学問を通して理解することができたり、人に対して新たな見方を得ることができます。学問として心理学を学び日常を少し豊かなものにしてみませんか?

令和7年3月  
卒業生 近藤 寛華

## Program in Educational Studies

Our faculty engage students in theoretical and practical studies in the pedagogy field to foster professionals in educational fields, providing opportunities to acquire integrative knowledge in pedagogy. The breadth of our faculty's expertise allows students to develop deep insight into education by exploring cutting edge research. You can acquire knowledge in diverse areas: theories and ideologies in education, educational

institutions and policies approached from philosophical, historical, and international perspectives, life-long learning and social education, curriculum and educational methods including technology, theoretical and practical research on educational administration and school management, international cooperation in educational development, higher education, and early childhood education.

## Program in Psychology

The Program in Psychology provides students with a broad understanding of the human mind. Students in our program study the main subject areas of psychology, including cognitive/physiological psychology, social psychology, educational/learning psychology, developmental/child psychology, and clinical psychology. In addition, this program offers courses for experimental and other research designs, psychological assessment and data analysis,

and English reading comprehension of psychological literature. Through these learning experiences, students can systematically master various areas of psychology, uncover the structure of the mind, and acquire the ability to solve psychological problems. For their graduation research project, all students review previous research, conduct their own research, and write up their findings.

# 教育学部に関連する研究施設とセンター

Research Facilities and Centers Related

## 附属幼年教育研究施設 Research Institute of Early Childhood Education

附属幼年教育研究施設  
WEBサイト



### 保育・教育の実際にふれながら子どもを学際的に研究する

附属幼年教育研究施設は、幼児教育についての総合的な研究を推進することを目的として、昭和41年4月に設置されました。施設は幼児教育学部門と幼児心理学部門からなり、幼年期の養護と教育の質の向上に寄与することを目的に、幼児の心身の発達と教育に関する理論的・実証的な研究を行っています。附属幼稚園との共同研究を行っていることも、本施設の研究活動の特徴の一つです。本施設の主な活動としては、次のようなものがあります。

保育小連携に関する研究／保育者の専門性に関する研究／子育て支援に関する研究／講演会、シンポジウムの開催／研究会やセミナーの開催

▶ This institute promotes research in preschoolers and their care/education for the purpose of supporting young children's development.



## 附属教育実践総合センター Center for School Education Research and Development

附属教育実践総合センター  
WEBサイト



### 教育実践を研究し、支援する

附属教育実践総合センターでは、二つの部門を設置し、学校や教育委員会などの教育・行政機関や地域と連携を図りながら、次のような活動を行っています。

#### 1. 教育実践研究開発部門

高い専門性と優れた指導力を持つ教員を養成するための教育事業や研究・カリキュラム開発を行っています。子どもとかわるボランティア活動に対して学生を派遣し、社会貢献の一翼を担うとともに、学生の教員としての資質向上に努めています。

▶ This center supports educational practice.

#### 2. 学校教育相談実践部門

学習や生徒指導上のさまざまな問題を解決・予防するための研究や、相談・支援活動を行っています。平成18年度から、学校心理教育相談室(にここルーム)を設置し、学習や生徒指導・教育相談に関わる心理教育的支援、学校心理学に関する教育・研究を行うとともに、学校心理学に関する研修の機会を提供しています。



## ダイバーシティ&インクルージョン推進機構 特別支援教育実践センター

Center for Special Needs Education Research and Practice

特別支援教育実践センター  
WEBサイト



### 障害のある幼児児童生徒などの教育的ニーズに応じた実践を学ぼう!

特別支援教育実践センターは、特別支援教育についての基礎的・実践的な研究や教材開発を行うことや、教育相談・臨床、特別支援教育を専攻する学生に向けた臨床指導、現職教員などに向けた研修を行うこと、そして関係機関と連携しながら地域の教育・福祉に寄与することを目的として設置されています。本センターの主な事業は次のとおりです。

1. 障害のある幼児児童生徒などの教育に関する相談、助言および障害のある幼児児童生徒などに対する教育的支援
2. 学生に向けた特別支援教育分野に関する実践的教育
3. 現職の教員、指導者に向けた研修
4. 障害のある幼児児童生徒などの教育的支援および支援にかかわる諸課題についての調査および研究

教育相談では、特別支援教育学領域のスタッフが中心となって、それぞれの専門領域に応じた支援を行っています。また、本センターは学生等に向けた実践教育の場として大きな役割を果たしています。

▶ This center supports children with special needs through educational practice.



## 附属心理臨床教育研究センター Training and Research Center for Clinical Psychology

附属心理臨床教育研究センター  
WEBサイト



### 心理臨床の研究推進と専門家教育を支援する

附属心理臨床教育研究センターは、平成14年度に心理臨床に関わる教育研究のための省令施設として設置されました。本センターの活動は、以下のとおりです。

1. 大学院生の心理臨床の実習・訓練による教育
2. 高度な心理臨床研究の推進
3. 社会で活躍する心理臨床家の再教育
4. 学校・家庭・職場等で心のケアを必要とする人々に行う心理相談サービス

特に人間社会科学研究科博士課程前期人文社会科学専攻心理学プログラム(臨床心理学実践・研究コース)に対して、本センターは臨床心理士や公認心理師養成のための心理臨床実習の場を提供しています。また、センターの心理教育相談部門は、「広島大学こころの相談室」として相談員によるカウンセリングやプレイセラピー等の心理相談活動(子どもの学校生活や友人関係、家族関係、職場の人間関係に関する相談など)を有料で行っており、研究科としての地域社会貢献活動の一端を担っています。

▶ This center promotes research in clinical psychology and supports professional training in this area.



## 教育ビジョン研究センター Educational Vision Research Institute

教育ビジョン研究センター  
WEBサイト



### “By EVRI, For Everyone: Innovative Educational Design”の精神で次世代の教育をデザインする

教育ビジョン研究センター(EVRI)は、人間社会科学研究科の附属研究施設として、“By EVRI, For Everyone: Innovative Educational Design”のミッションの下、教育の現場と連携した研究・開発を進めています。具体的には次のような3つのビジョンを掲げて、活動を展開しています。

1. 教育のalternativeの提案 ..... 「平和・市民性教育」「教師教育・授業研究」「カリキュラム開発」「Inclusive・日本語教育」。これら4つのユニットが国際的で先端的な研究を牽引し、その成果を書籍・論文の出版およびセミナー等の開催を通して発信しています。
2. 教育のreconstructionの促進 ..... 学内外の機関と連携して、カリキュラム・教科書の共同開発、研修プログラムの開発と実践などのプロジェクトを実施しています。
3. 教育のinteractionの媒体 ..... 研究交流の拠点として、海外の教育・研究機関へのスタッフ派遣や本学への研究者・専門家等の受入を行い、国際交流を支援しています。

2023年にEVRIの「デジタル・シティズンシップ・シティ:公共的対話のための学校」が内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期課題「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」採択事業に選ばれ、新たな教育の形の実装に挑戦しています。

▶ This institute promotes research and development under the visions of proposing “alternative”, promoting “reconstruction”, and facilitating “interaction”.



# 特色ある取組

Distinctive Projects

## 地域と歩む

### フレンドシップ事業 — The Friendship Program

本事業では初等教育学プログラムの学生たちと子どもたちが、地域の方々の協力を得てさまざまな体験活動を行っています。年間計画に基づく継続的な活動を通して、子どもたちが豊かに生きる力を培うこと、学生たちが教師としての豊かな資質能力を養うこと、また参加者相互の交流を深めることを目指しています。これを達成するために子どもたち・学生は年間を通じて特定グループに所属して関わり合い、さらに年度末には子どもたちの保護者やきょうだいも参加・参観できる全体活動を開催しています。



フレンドシップ事業  
WEBサイト



## 世界にはばたく

### 日本語教育海外実習 — Teaching Practicum in Japanese as a Foreign Language

日本語・日本文化教育学プログラムでは、学部3年生対象の授業「日本語教育海外実習研究」を行っています。本実習は、登録日本語教師(国家資格)の教育実践研修として文部科学省に認定を受けています。世界の日本語教育事情についての調査/発表、海外で日本語を教えている現地の先生方との交流、教材分析、模擬授業などの事前学習を行ったうえで、春季休業中にタイ、インドネシア、中国、ニュージーランド、スリランカなどの大学に赴きます。派遣先の大学では教壇実習や現地の教員の授業見学、現地の日本語学習者や現場で日本語を教える教員との交流が計画されています。また、帰国後は、振り返りや報告書の作成を通して、実習の意義を確認しています。



日本語・日本語文化教育学プログラム  
WEBサイト関連ページ



## 学部・大学院の6年間を貫く教員養成

### 教職大学院6年一貫特別プログラム — 6-year integrated education program

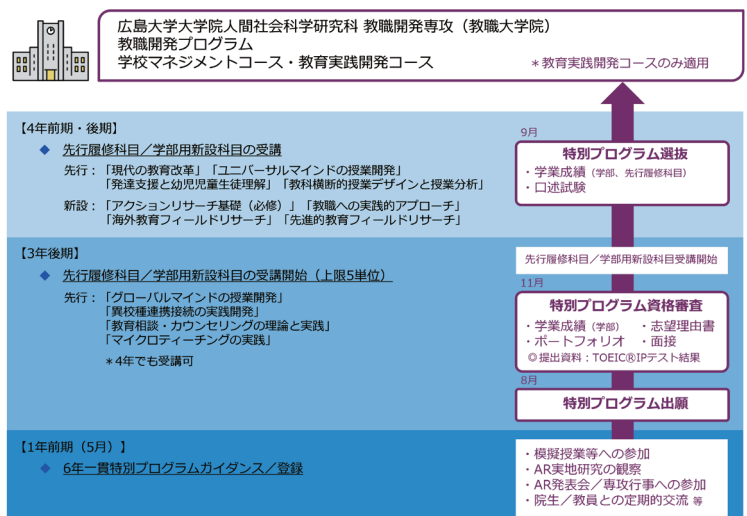
令和6年4月より、広島大学教育学部の4年間と大学院人間社会科学科教職開発専攻(教職大学院)の2年間で接続する6年一貫特別プログラムを開設しました。

6年一貫特別プログラムは、優れた実践的対応力と実践研究力を備え、教育現場で活躍できる人材を養成することを目的とし、学部と大学院を有機的に接続することによって、より高度な教職開発を行います。

6年一貫特別プログラムに登録した学生は、学部1年生から教職大学院の研究発表会や大学院生の模擬授業、実地研究校でのアクションリサーチや大学教員が関わる校内授業研修会に参加できます。また、学部3年生からは、先行履修科目や学部用に新設された科目を受講できます(右図参照)。本気で教師をめざして入学してくる学生たちの「もっと教育現場を学びたい」というニーズに応えます。

学部での教育実習までに、教育現場や教師と関わる経験を得ることで、教育実習の質が深まります。そこからさらに大学院での研究的な教育実践へと接続することで、高度な実践的対応力と実践研究力を有する教員の育成が期待されます。

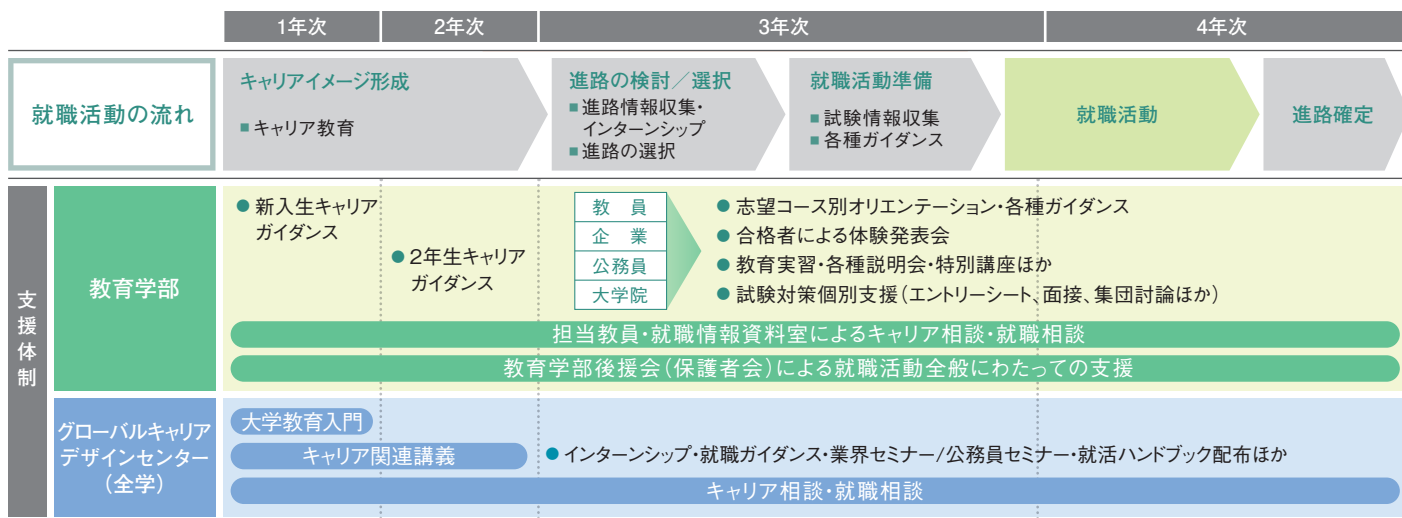
#### 教職大学院 6年一貫特別プログラム



# キャリアサポート・進路

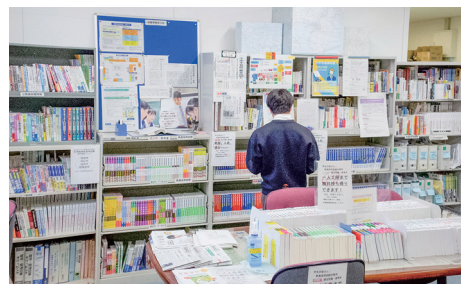
Career Support

## ▶ 就職活動の流れと支援体制



## 就職情報資料室

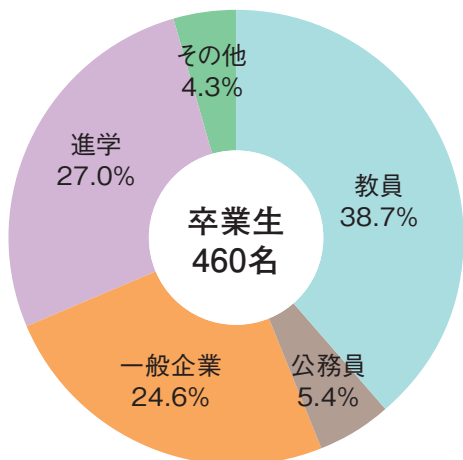
教育学部独自の「就職情報資料室」を設置して就職活動を支援しています。



**主な進路** 教員、公務員、一般企業、大学院進学 **体制** 専任教員2名が担当

**支援内容** 各種就職関連資料・情報の提供(教員、公務員、一般企業)  
 例: 教員採用試験過去問、就活関連図書、先輩の受験体験記など  
 就職相談  
 例: 進路相談、面接指導、エントリーシートの書き方指導など

## ▶ 令和7年度卒業生の進路状況



### 主な就職・進学先(令和7年度)

教員	学校教員(幼稚園)	なし
	〃 (小学校)	広島、東京、福井、滋賀、兵庫、和歌山、奈良、島根、岡山、山口、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、熊本、大分、鹿児島、その他
	〃 (中学校)	広島、東京、京都、岐阜、大阪、兵庫、奈良、岡山、香川、愛媛、徳島、佐賀、長崎、熊本、沖縄、その他
	〃 (高等学校)	広島、愛知、京都、滋賀、鳥取、島根、岡山、山口、徳島、香川、愛媛、長崎、鹿児島、その他
	〃 (特別支援学校)	広島、愛知、静岡、兵庫、福岡、佐賀、その他
公務員	国家、地方(広島、北海道、京都、滋賀、岐阜、福岡、長崎、熊本、その他)	
一般企業・その他	NTTドコモ、大和証券、中国電力、広島銀行、東京エレクトロン、住友生命、JR東日本、マツダ、山口フィナンシャルグループ、その他	
進学	広島大学、岡山大学、九州大学、その他	

# 資格／留学

Qualification / International Exchange

## ▶ 取得可能な免許・資格



所定の単位を修得等することにより、以下の免許状・資格の取得が可能です。  
(種類及び教科等は、プログラムごとに異なります。詳しくは、各プログラムの紹介欄をご覧ください。)

- 幼稚園教諭一種免許状
- 小学校教諭一種免許状
- 中学校教諭一種免許状(国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語)
- 高等学校教諭一種免許状(国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・保健体育・家庭・情報・工業・英語)
- 特別支援学校教諭一種免許状  
(視覚障害者・聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者・病弱者の5つ全ての特別支援教育領域)
- 登録日本語教員(国家資格)、学校図書館司書教諭、社会教育主事、社会調査士、学芸員、公認心理師(国家資格)、認定心理士(日本心理学会認定資格)

\*公認心理師の受験資格取得には、学部で必要な科目の単位を修得した後、大学院での所要単位の修得もしくは実務経験が必要となります。

など

## ▶ 留学・国際交流



広島大学では、グローバル人材を育成するために、入門的な海外研修から、英語で専門的な内容を学ぶ本格的な長期留学まで、多数のプログラムを提供しています。また教育学部は、日本で唯一、教育学に関する国際的なネットワークであるINEIに加盟するとともに世界各国の教育系大学・学部と部局間協定を締結し、さまざまな共同事業を行っており、中国をはじめ韓国、インドネシアなど多くの国からの留学生も在籍しています。

留学生の皆さんとも積極的に交流してみましょう。



### 代表的なプログラム

#### e-STARTプログラム

(海外の大学生とオンラインで交流)

- 実施期間** 主に夏・春季休業期間中  
(集中講義として実施)
- 費用** 参加費無料  
(テキスト等の購入が必要となる場合の費用、プログラム参加に必要なデータ通信料は参加学生の個人負担)
- 交流先** 海外大学(コースによる)

#### STARTプログラム

(短期間の海外留学へ)

- 実施期間** 主に夏・春季休業期間中1～2週間程度(集中講義として実施)
- 費用** 渡航先による  
(要件を満たした学生には、奨学金が支給されます)
- 渡航先** アジア、ヨーロッパ、米国の大学  
(募集時による)

#### HUSA交換留学プログラム

(現地で専門的に学ぶ)

- 派遣期間** 4～10カ月
- 費用** 渡航費、滞在費、海外留学保険料、ビザ申請料、教材費など  
(要件を満たした学生には、奨学金が支給されます)
- 派遣先** 30カ国90大学以上



# 広島大学

## SCHOOL OF EDUCATION HIROSHIMA UNIVERSITY

### お問い合わせ先

〒739-8524 東広島市鏡山一丁目1番1号  
広島大学 教育学部  
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/ed>



### 【教育学部】

教育学系総括支援室(学士課程担当)  
TEL : 082-424-6725 FAX : 082-424-7108  
E-mail : kyoiku-gakusi@office.hiroshima-u.ac.jp

### 教育学部への交通アクセス

#### ■ JR山陽本線を利用する場合

- JR西条駅からバス(広島大学行き)に乗って「広大中央口」又は「広大北口」で下車 [所要時間:約20分]
- JR八本松駅からバス(広島大学行き)に乗って「広大二神口」で下車 [所要時間:約20分]

#### ■ 山陽新幹線を利用する場合

- JR東広島駅からバス(広島大学行き)に乗って「広大中央口」又は「広大北口」で下車 [所要時間:約15分]



広島大学 教育学部オリジナルロゴマーク  
「Eわん(いーわん)」

